

150年間の思いを一つに 元街っ子
~つなげよう! まちへ 世界へ 未来へ~

令和5年5月31日

元街

横浜市立元街小学校



令和5年度 学校だより 6月号

Tel 681-7810 Fax 662-5842

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motomachi/>

元街小が元町小でないのは?

校長 工藤 雅彦

元街小はよく元町小と変換ミスされることがあります。しかし校章にもなっている「元街」の力強く美しい書体は、子どもたちも、職員も大好きです。この元街という校名ですが、そもそも地名ならば元町なので、元町ショッピングストリート、元町・中華街駅、元町公園のように元町小学校となります。諸説あるようですが、ある資料にはこう書かれていました。

今から150年前の1873年、学制発布により当時の元村(現在の元町)付近には、「三到学舎(元町4丁目)」と「明衛学舎(山手94)」が学校として開設されました。元街小の始まりです。その2年後の1875年、明治政府は『小学校は町村ごとに統合し、学校名は「町・村」を外した地名にするよう』指示します。元町にある二つの学舎は増徳院境内(現在の元町プラザ付近)に合併移転されますが、名前は「元町学校」とはできず「元街学校」となってしまいます。そうは呼びたくないとのことから、町を街に変え「元街学校」として提出された名前が認められたのではないかと?という一説がありました。なるほど、と思わせる説です。

その他、元街学校の「衛」が「街」と似ていて誤植(ミスプリ)されてしまった説や、元街小には、元町の子どもたち以外にも様々な町の子どもたちが通っているのも町を街にした説。などがあります。

歴史の長い学校には様々な言い伝えがあり、時代背景に伴う様々な出来事があり現在に至っています。また、そこにはいつでもその時代の元街っ子が精一杯学んで遊んで成長し、そして巣立っていきました。創立150周年の節目の年、未来を担う今の元街っ子たちに、私たち大人は時代に合わせながら、子どもたちにとって何が必要で何が大切かをよく考え共通理解し、子どもたちのための元街小を創っていかねばなりません。

先日(5月10日)の学校説明会・PTA総会では、久しぶりの体育館での集合開催でしたが、たくさんの方の保護者の方に参加していただき、貴重なご意見をいただいたり、情報共有できたりしたことは大変嬉しかったです。また地域の皆様にはこの地に元街小がある限り、元街小を共に見守り育てていただけますよう、ご支援とご鞭撻をよろしく願います。

～ 訃報 ～

元街小学校 第26代校長 山崎 晃 先生が今年3月にご逝去されました。(享年88歳)
5月9日付で奥様よりお手紙をいただきました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。